

# 道路構造を橋梁構造からトンネル構造に変更

## 記者発表資料

神奈川県相模原市城山町葉山島における不法投棄地のさがみ縦貫道路の構造について、事業者として、関係機関とも調整を進めつつ検討した結果、橋梁構造から、旧谷底の下を通過するトンネル構造に変更すべきと判断しました。

### 1. 道路構造の検討の経緯について

神奈川県相模原市城山町葉山島に不法投棄された大量の土砂については、平成18年度に実施した地質調査の結果を受け、神奈川県において現況の不法投棄土砂の安定性分析評価を実施し「土砂は安定していると考えられるため、不法投棄された土砂を現況地盤と見なす」と結論づけられました。(平成19年11月30日の神奈川県記者発表)

この結論を踏まえ、さがみ縦貫道路の事業者である相武国道事務所では、道路構造について検討してまいりました。

### 2. 道路構造の検討の結果について

検討にあたっては、さがみ縦貫道路の道路構造を考慮した場合の不法投棄土砂の安定性分析評価を実施するとともに、現実的に可能と考えられる複数の道路構造案を想定し、コスト、工事工程など総合的な観点から比較検討してまいりました。

その結果、縦断線形を変更し、旧谷底の下を通過するトンネル構造が、最もコスト、工事工程などで優位であると考え、関係機関とも調整し、現行計画の橋梁構造からトンネル構造に変更すべきと判断しました。

### 3. 今後の予定について

今後、本トンネル構造をもって、相模原市及び神奈川県において都市計画変更の手続きを進めて頂くとともに、関係地権者のご理解、ご協力を賜りながら、早期に工事着手できるよう努めて参ります。

平成20年6月13日

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ	相模原記者クラブ	厚木記者クラブ
八王子記者クラブ		

#### お問い合わせ先

〒192-0045 八王子市大和田町4-3-13

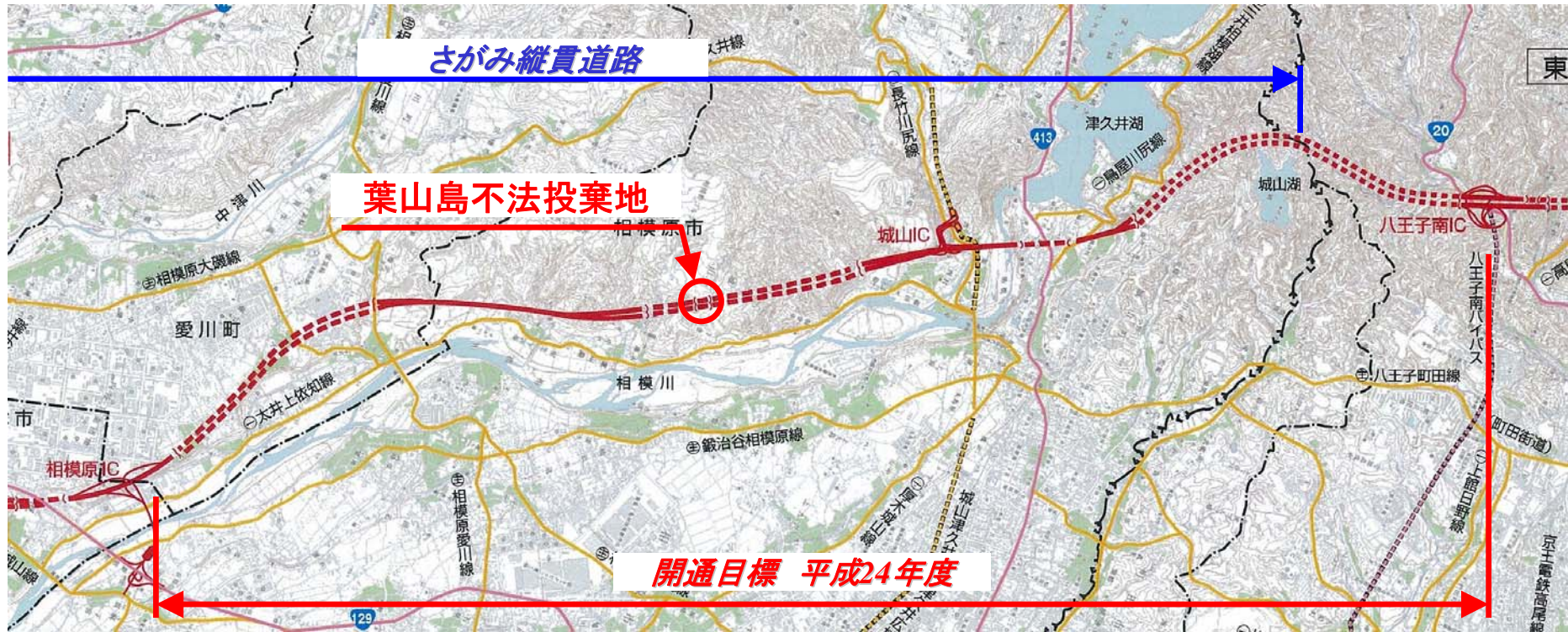
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所

副所長 徳 嵩 公明

計画課長 古川 慎治

電話 042-643-2001 (代表)

# さがみ縦貫道路 葉山島不法投棄地 位置図 開通目標年度

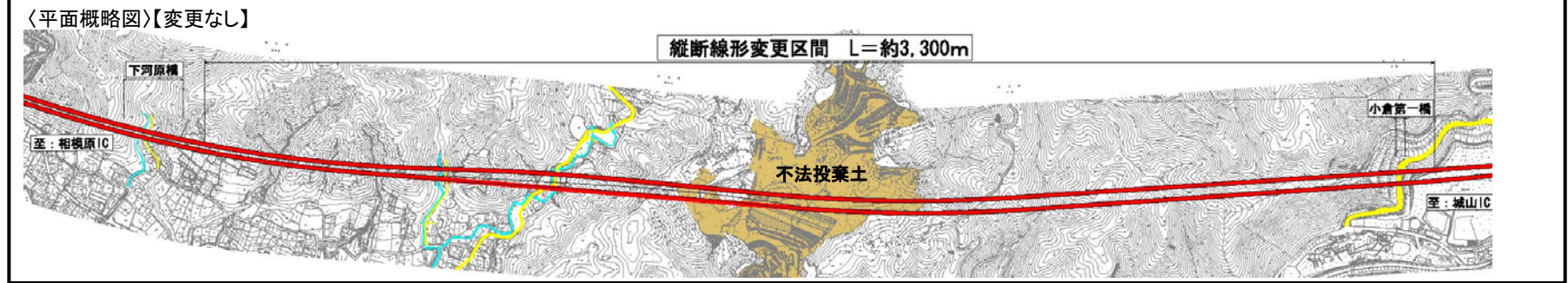


IC名はすべて仮称

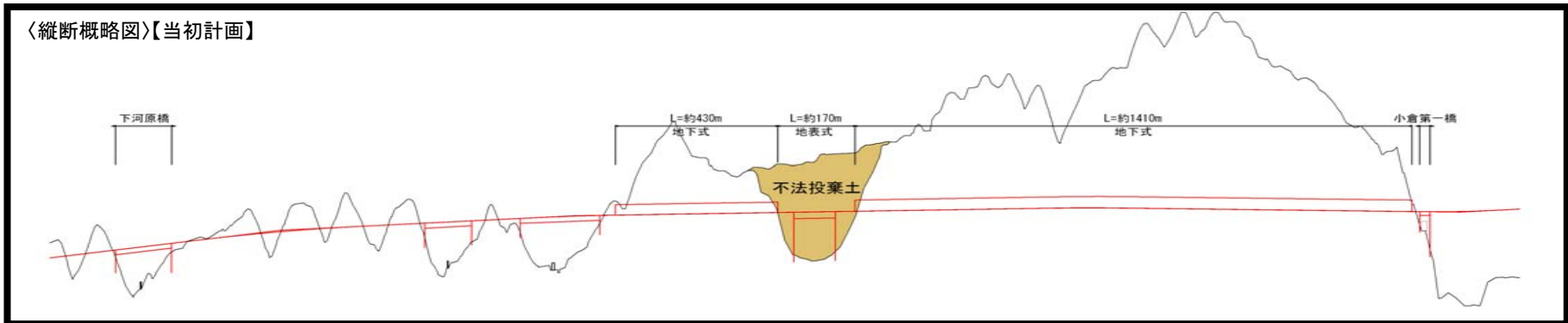
# さがみ縦貫道路 葉山島不法投棄地における構造変更 概略図

## 1. 平面図

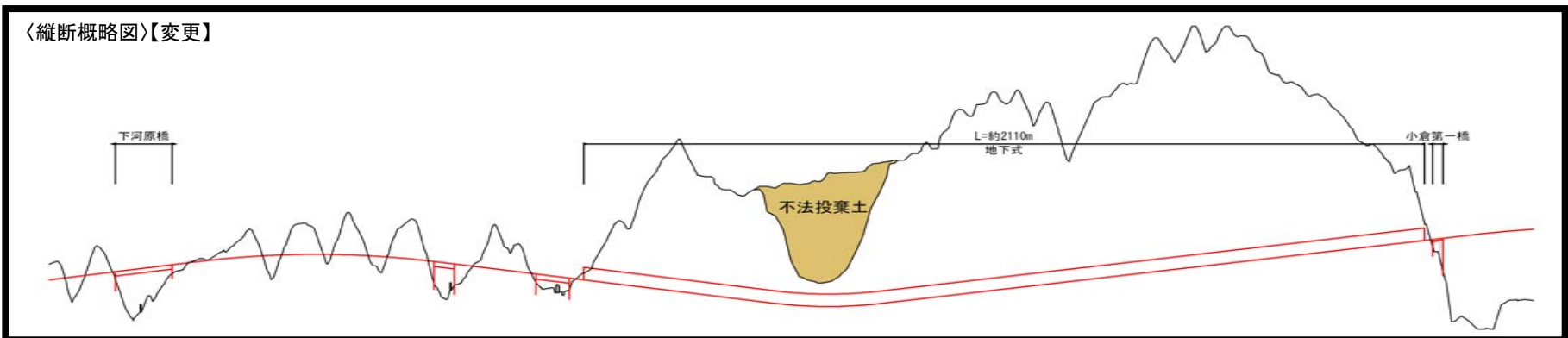
構造物及びIC名はすべて仮称



## 2. 縦断図



変更





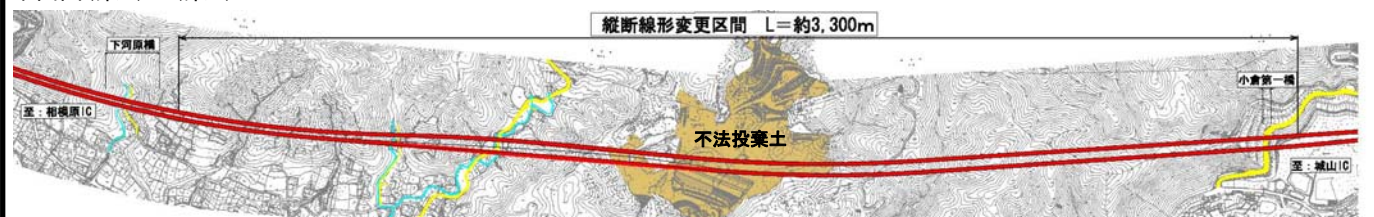
# さがみ縦貫道路 葉山島地区道路構造の比較検討について

## 1. 検討案について

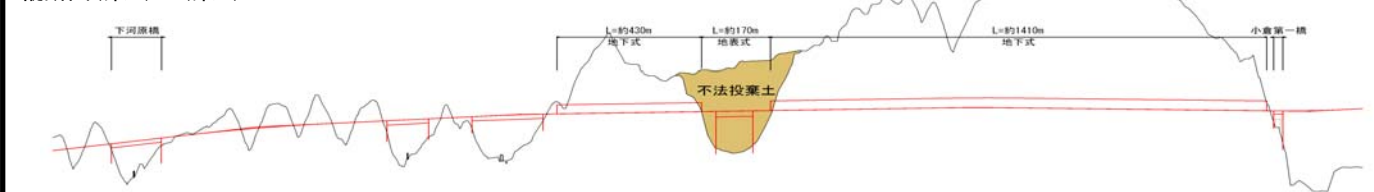
現行都市計画のルートに沿って、不法投棄地を通過する切土開削案、トンネル案、掘割擁壁案の他、都市計画による権利制限を変化させずに縦断線形のみを変更するトンネル案を追加し、比較検討を行った。

案	不法投棄土砂中を通過する案			縦断線形を変更する案
	(案1)切土開削案	(案2)トンネル案	(案3)掘割擁壁案	(案4)トンネル案
断面図				

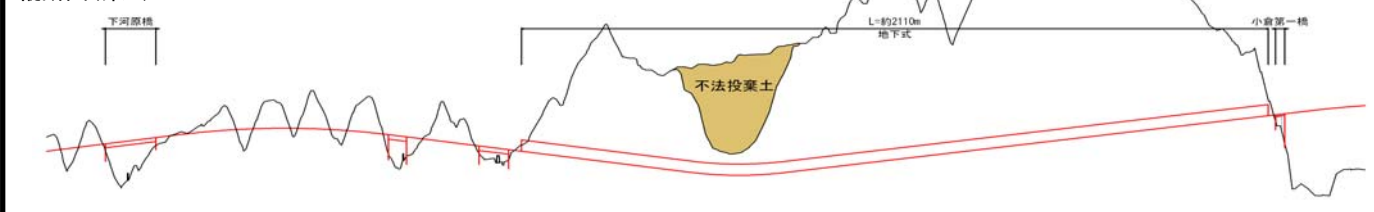
平面図(案1)~(案4)



縦断図(案1)~(案3)



縦断図(案4)



## 2. 検討結果について

各案の比較結果は以下のとおりである。

案	不法投棄土砂中を通過する案			縦断線形を変更する案
	(案1)切土開削案	(案2)トンネル案	(案3)掘割擁壁案	(案4)トンネル案
経済性※ (概算事業費)	約610億円	約1,500億円	約1,330億円	約270億円
工事内容	不法投棄土砂の中に安全に切土を構築するため大規模な地盤改良が必要	不法投棄土砂の中に安全にトンネルを建設するため大規模な地盤改良が必要	不法投棄土砂の中に安全に掘割擁壁を建設するため大規模な地盤改良が必要	地山を通過するトンネル施工であり、信頼性が高い
工事工程※	約3年11ヶ月	約4年7ヶ月	約5年9ヶ月	約3年11ヶ月

※ ○不法投棄土が無い状態で当初計画していた道路構造の概算事業費は約260億円

○経済性(概算事業費)、工事工程は下河原橋~小倉第一橋間の約3.3km区間を対象としている